

「こどもをまもる

110番のおうち」

対応マニュアル



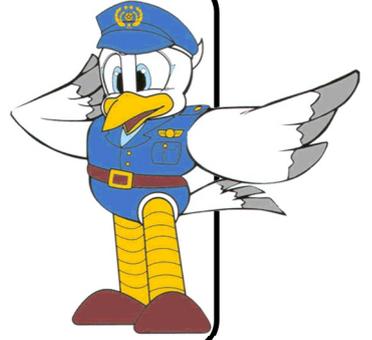
こどもたちが安心して暮らせる環境を確保するため、「こどもをまもる110番のおうち」を推進しています。この取り組みは、地域の協力家庭・事業所が「こどもをまもる110番のおうち」のプレート・安全旗を常時掲示し、トラブルに巻き込まれそうになったときに駆け込み助けを求めることで、こどもを犯罪から守り被害を最小限に止めようとするものです。

川西警察署
川西市教育委員会

「こどもをまもる110番のおうち」の役割

「こどもをまもる110番のおうち」とは

こどもが「誘拐や暴力、痴漢」など、何らかの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めてきたとき、そのこどもを保護するとともに、警察、学校、家庭等へ連絡するなどして、地域ぐるみでこどもの安全を守っていくボランティア活動です。



活動の内容

玄関先や店先等のよく見える場所に「こどもをまもる110番のおうち」の旗・プレートを常時掲示します。(取り外しはしないで下さい)
犯罪等の被害に遭い、または遭いそうになって救助を求めてきたこども等を保護します。
事件・事故の発生を認知したとき、110番通報、学校・家庭への連絡を行います。

活動上の留意事項

こどもは、いつ駆け込んでくるかわかりません。誰でも対応できるように、家族の方、従業員の方にも、このマニュアルを徹底しておきましょう。
こどものプライバシーを尊重し、秘密を守りましょう。駆け込んできたこどもがたとえ顔見知りであったとしても、その内容を安易に近所の人などに話すことのないように注意してください。
こどもの立場に立った思いやりのある対応を心がけましょう。

もしも子どもが駆け込んで来たら・・・

対 応 要 領

子どもが助けを求めてきた場合、
まずは家の中に入れて保護してください。

1

まず自分が落ち着いてください

話を聞く側があわてたり興奮したりしないよう、まずは自分が落ち着いて子どもの話を聞いてあげてください。

2

子どもを落ち着かせてください

「もう大丈夫」などとやさしく声をかけ、子どもを落ち着かせてあげることが大切です。

3

子どもから話を聞いてあげてください

【子どもから話を聞くときのポイント】

静かな場所で聞く。(落ち着いた雰囲気をつくる)

椅子にかけさせるなどして子どもと同じ目線で話す。

子どもの体調に気を配る。(気分が悪くないか、ケガをしていないか等)

子どもの判断の参考となるような具体的な例を挙げてたずねる。

子どもに分かりやすくゆっくり話す。(強い口調は控える)

無理に答えを聞かない。(わからないことを何度もたずねない)

緊急の場合は、110番通報をしながら話を聞いてください。

4

警察へ通報してください

「子どもをまもる110番のおうち」であることを告げ、あなたの住所・氏名等を伝えてから、聞き取った内容を順序よく話してください。

その後は最寄りの小学校または川西市教育委員会教育保育課までご連絡ください。

5

警察等が到着するまで待ちましょう

110番通報により、近くのパトカーや警察官ができるだけ早く駆けつけますので、家の中で子どもを待たせてください。

聞き取りメモ

1 何がありましたか

連れ去り（腕をひっぱる・車に乗せようとするなど）

わいせつ（体に触れる・抱きつくなど）

声かけ（お菓子や物を買ってあげる・遊びに行こうと言うなど）

つきまとい（追いかける・立ちふさがるなど）

2 いつ【 時 分ごろ】

3 どこで

場所

目印になるもの

4 犯人（不審者）は

男（ ）人 女（ ）人 年齢（ ）才ぐらい

身長（ ）cm ぐらい 体格（肥満・ふつう・やせ）

服装 上（ ） 下（ ）

その他の特徴

（メガネ・サングラス・ヒゲ・帽子・マスク・その他

【 ）

逃走手段（徒歩・自転車・オートバイ・車）

車のタイプ（ ）色（ ）ナンバー（ ）

逃走方向（ ）

5 こどもさんは

住所

氏名

電話番号

- -

学校名

小・中・高

年生



警察・・・110番 救急・・・119番

お住まいの地域の小学校に連絡

川西市教育委員会教育保育課・・・(072)759-9424